

令和6年度第3回子ども・子育て会議議事録

開催日時	令和7年1月31日（金）18時30分から20時まで		
開催場所	辰野町役場 大会議室		
出席者数	22人 【委員】11人 ※敬称略、順不同 林 まどか PTA連合会長 上條 美幸 保育園保護者協議会表 大井田 由佳 学童クラブ保護者会長 小澤 久仁子 主任児童委員代表 佐藤 幸子 信州豊南短期大学 幼児教育学科教授 片桐 広文 校長会長 小林 テル子 町議会 福祉教育常任委員長 有井 直美 学童クラブ支援員代表 有賀 美智代 保育園長代表 鈴木 亜紀子 保育園主任代表 大久保 智恵 子育て支援センター長 （欠席者2人） 【事務局】11人 武居町長、山田副町長 子育て応援課 高倉課長、高津、田中、井出、殿内、武井、野澤 学校支援課 小澤課長、宮原		
会議の公開	公開（傍聴できる）	傍聴者数	0人
配布資料	① 会議次第 ② 第3期辰野町子ども・子育て支援事業計画【素案】 ③ 資料1「子ども・子育て支援事業計画」と「こども計画」の関係 ④ 資料2 子ども・子育て支援に関する調査報告書		
会議概要	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議事項		

(1) 第3期辰野町子ども・子育て支援事業計画の素案について

【事務局 素案・資料1説明】

【質疑応答】

<委員>

素案にニーズ調査のまとめというページがあり、かなりボリュームのある調査をされて、そこからピックアップをしてコンパクトにまとめたということだと思うんですけども、子育て支援についての意見のところで、経済的支援の他に小児医療体制整備へのニーズが高く、自由記述からも病児・病後児保育を含めた病院への意見が見られるというような記述がされていますが、その他の項目でも結構高いところがありまして、その辺りをもう少し拾っていただけなかったのかというようなことを思いました。何%ぐらいのものを拾うとか、どんなふうにその辺はお考えになってまとめをされたのかという辺りを教えてください。

<事務局>

特段何%以上ということではありませんけれども、主にその中で注力してやるべきところかなといったところでピックアップをさせていただいたところです。まず経済支援については財政的なところもありますので、なかなかすぐにはならないこともあります。また小児医療体制についても、辰野病院との連携だとか、お医者さんの都合もあります。夜間救急の要望もありますけれども、それもなかなか辰野だけでは難しいということがあるので、すぐにどうにかなるものではないんですけども、その中でも私達ができるとすると、病児・病後児保育施設につきましては今建設中であり、これはいつからやるの？と聞かれたりすることもあるので、やはりニーズが高いのかなというところがございます。なので、どれもやれたら良いんですけども、やはり今私達が優先的にやるのはここなんじゃないかなといったところで書かせていただきました。

<委員>

今のお答えからすると、これからできることに繋げるというか、そういうところを加味してまとめをされているということでしょうかね。あとは、例えば子育てに関する支援情報に満足しているかというようなことについて、未就学児も就学児童も非常に低いわけなんですよね。その辺りはこれからできることとして挙げておいていただいた方が良い項目ではないかなと思います。せっかくこれだけの調査をされているので、もう少し拾っていただけたら良かったんじゃないかなということをお思いました。

<事務局>

色々なデータがありましたので、私達もそれについてはできる限り拾いたいと思っていますところでもあります。情報提供については、今子育て支援のアプリだとか、町の公式LINEだとかもありますので、それは継続してやりますけれども、来年度以降も子育て応援課や子育てに関する関係部署とも協力しながら、できる限りの情報提供はしていきたいというふうに思っております。

<委員>

障害などに配慮が必要な子どもを安心して育てられるかという項目もかなり低かったものですから、この2点についてはできたら書いていただきたかったなと思います。

<事務局>

その辺については策定方針の方では触れさせていただいております、ニーズ調査の結果には書いてはないんですけれども、4ページの策定方針の下から三つ目に、特別な支援が必要な子どもへの支援ニーズが増加していることから、支援体制の確保充実に向けて取り組みを進めるとあります。また一番下の困難を抱える家庭というのもそういったところに該当するかなと思いますけれども、これについては私達も今後やはり力を入れていかなければいけないと思っておりますので、保健福祉課とも連携しながら来年度のこども計画に繋げていければいいかなと思っております。

<委員>

30 ページの一時預かり事業についてお伺いしたいんですけれども、たまたま今日図書館のファーストブックという、9ヶ月検診の乳幼児さんに本を提供する事業がありまして、ボランティアで参加させていただきました。そこであるお母さんから、一時預かりで0歳児から見てもらえないかな、なんていう話を聞きました。昔ならお家にいるおじいちゃんおばあちゃんに見てもらって自分の用事のところへ行くんですけれども、これから核家族が増えていくと、本当にちょっとした午前中の時間に見てもらいたいとか、そういうニーズが増えてくると思います。今は保育園と子育て支援センターで一時預かりを実施しているということですが、塩尻市なんかは普通の保育園で、いつでも一時預かりを見る先生が常勤でいるんですよね。なので、保育士が不足する中で無理かもしれませんが、やっぱり親のニーズに応えるということであれば、0歳児から見るとか、受け入れが簡単にできるとか、急に用事ができて預かってもらいたい時に連絡して予約してとかじゃなくてすぐぱっと見られるような体制とか、この一時預かりに限ったことじゃないんですけれども、そういった親のニーズに応える、もう少し細かい丁寧な対応も必要になってくるのかなと、今日お母さんの声を聞きながら思いました。

<事務局>

一時預かりについては、本当に利用は多い中で、保育士があまり確保できないということで時々お断りせざるを得ないような状況であります。32ページの②に記載をさせていただいておりますけれども、こども誰でも通園制度というのを来年度、試行的に辰野町で始めるつもりです。令和8年度からは本格的に実施しますが、令和7年度は新町保育園で、6ヶ月からの0歳と1歳と2歳のそれぞれ1人ずつの枠で、1ヶ月で10時間しか使えないという制限もありますけれども、開始していきたいと考えております。そのようにそのお母様にもお伝え願えればと思います。

<委員>

31 ページの病児保育事業の件ですが、私も子育てしていて3人子どもがいるんですが、こういったサービスを知らないで過ごしてきました。今度辰野町にその施設ができるということで、今ホームページに載っているいちごハウスの利用方法を確認してみたんですが、1歳から小学校6年生までが対象で、事前に登録が必要で、予約が必要で、ということで、やっぱり急に預けたりとか子どもの体調が崩れたりとかするのは予想がつかないところなので、一つ前のお話でもありましたけれど、手続きが煩雑だと利用が進まなかったり、利用しようというふうにならないんじゃないかなと思います。あとは具合の悪い子どもを自分の手元を離れて知ら

ないところに預けるのは大丈夫かな、子どもにとって大丈夫かなというのを親としては思うので、施設が出来たときにお披露目じゃないですけど、辰野病院祭みたいに見られるような機会があったり、子どもにとっても馴染みの場所みたいなふうになると利用が進むのかなというところで、今後の事業の進め方で検討いただければと思います。

<事務局>

まず皆さんに親しみやすいような施設ということで、事前にお披露目ということにつきましては、検討をしてみたいと思います。2月末にできる予定ではございますが、開所までにスタッフなどの準備が必要だったり、すぐ4月からというわけにはなかなかいかないので、まだ開所の月は決まっておりませんが、その間にそのようなことが設けられれば良いかなと考えております。

申し込みにつきましては、基本的には箕輪町のいちごハウスも継続しながら、辰野町と両方でということで、申し込みの仕方については同じようなかたちにする予定ではございます。ただできるだけ利用者が利用しやすいように、今度はインターネットで予約ができたりとか、各自に利用申込書を書いてもらうんですけど、そういったものを事前に予約する中でできるだけ簡単に済ませられるようなかたちで今考えております。ですので、そういったところで利用が進むようにやっていければいいかなと思っております。

<会長>

それでは、これまでの委員の皆様方からのご意見を踏まえて、次期計画の素案について、パブリックコメント（意見公募）を実施するものとしてよろしいでしょうか。

→異議なし

(2) その他

<子育て応援課長>

前回11月のこの会議で、年内に保護者の方へ閉園時期について決定したということをお伝えする説明会をやりたいということでありましたので、保育園統合の経過と進め方について、保護者説明会を12月16日に行ってまいりました。

主に年少以下のお子さんを持つ家庭の方に出席していただきまして、閉園の時期（来年度末で閉園となること）、転園へ向けた準備、改修等を説明し、それについて要望を聞く機会として説明会を行いました。今後も保護者に対し、安心して統合へ移行できるよう進捗状況や情報提供をしていくことと、1回目の説明会の時の意見やアンケートで要望のあった園児バス、閉園セレモニー、駐車場確保等についてお答えをしてまいりました。2回目となった12月の説明会でも意見要望として2点、今後の改修の状況について教えて欲しいといった意見と、駐車場の拡張について要望が出されましたので、そのことについてはお知らせしていくこと、次年度の予算で駐車場等の整備は対応していくことを伝えました。今後も東部保育園の交流などと一緒に園の改修などを進めていく予定でありまして、そうしたことを伝える説明会となったことをここで報告させていただきます。

5. その他

<事務局>

第3期辰野町子ども・子育て支援事業計画の素案について、2月にパブリックコメントということで意見公募を実施いたします。そこで意見などが出てきた場合につきましては、そのご意見を考慮しまして、計画に反映いたします。意見に対する町の考え方と修正内容を公表しながら、計画案の決定をする流れとなっていきます。

また、この会議は今回が今年度最後になりますけれども、7年度に入りましたら今度は新たにこども計画の策定が始まりまして、これも継続してお願いする方もおりますけれども、引き続きお願いしたいと思います。所属団体のあて職の方で、3月でその職務が満了する方もいらっしゃるかと思いますが、今後は後任の方をお願いするかたちになりますので、引き継ぎ等ありましたら、お話しいただけるとありがたいと思います。

6. 閉会